

鶴岡市立加茂水族館振興基本計画(案)に対する意見公募の結果

1 概要

(1) 募集期間

令和元年12月26日(木)から令和2年1月15日(水)まで

(2) 意見提出者

1名(意見総数 4件)

2 いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
修正	ご意見の趣旨を参考にして計画案を修正したもの	0 件
賛同	計画案全体に対して同趣旨及び賛同いただいたもの	0 件
参考	今後の施策や事業実施にあたり参考とさせていただくもの	4 件
合 計		4 件

3 鶴岡市立加茂水族館振興基本計画(案)に対するご意見とそれに対する市の考え方

○ご意見の内容により分類して掲載しております。

(1) 計画案全体に対して同趣旨及び賛同いただいたもの

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
1	<p>水族館内の有料区域と無料区域を明確に分けて、移設する売店に加えてレストランも館外に移設するべきと思います。</p> <p>有料と無料の区域が混在すると入場を管理する側の負担が増えます。レストランの機能移設は費用も掛かり異論も多いと思います。現在のレストラン部分を休憩場所やレクチャールーム、新設トイレへの改造に使用して、本館と移動しやすい通路を確保した上でレストランはエントランス棟などに合わせて移した方が良いと思います。</p> <p>受付は現状のままで、チケットなどの発券設備をエントランス棟に新設するだけで良いのではないのでしょうか。入場券はオンラインでネット上でも購入できるようにすれば、来訪者は事前に購入して来館できますし、管理する側もひと手間減ります。</p>	参考	<p>このたびのリニューアルにより、有料区域と無料区域の明確化を予定しております。レストランについては、整備スペースにも限りがあるため、館外への移設は難しいところではありますが、直接出入り可能な無料区域とすることで、繁忙期でも待ち時間が少なく利用することができるよう改善を図る予定であります。</p> <p>また、入場券のネット販売については、すでに取り扱っておりますが、購入者のメリットが少ないなど運用方法に課題があるため、今後、先進事例を参考にしながら、効果的な運用方法等を検討して参ります。</p>

No.	いただいたご意見	分類	ご意見に対する市の考え方
2	<p>クラゲ研究所は加茂水産高などとの連携も強めながら、もう少し拡張した施設を検討するべきだと思います。</p> <p>観光施設として鑑賞などで来館者を迎える機能に加えて、クラゲの生態や活用についても国内有数の研究機能を備えて、国内外からの研究者なども第一に来訪する水族館になって頂きたいと思います。今回のリニューアル分だけでは直ぐに再拡張する必要が起こるよう感じます。加茂水産高とも連携しながらさらなる設備の充実が可能な場所で展開する方が良いと思いますので、研究所棟の整備については、今回は再検討した方が良いでしょう。</p>	参考	<p>水族館は学習施設の位置付けもあり、国内外から多くの研究者も来訪しております。</p> <p>加茂水産高校には水族館との連携による「水族館学」の科目が設置されており、水族館での実習を導入済であります。</p> <p>計画案には、増築棟にレクチャールームの拡張を盛り込んでおり、さらなる学習機能の強化や同校との連携強化を図って参ります。</p>
3	<p>繁忙期には時間を限定した予約制を導入して来館者の管理を、閑散期には周辺の宿泊施設や公共交通機関と連携した格安パックなどを導入するのも良いのではと思います。</p> <p>安全面を考慮して入館規制を取らなければいけない時期は限られています。その様な繁忙期は予め限定的に時間予約制などを来訪者にご協力をいただきながら周知して採用すべきです。反対に閑散期に団体客なども来訪しやすくなるように、宿泊施設から送迎いただいた団体には格安で入館できる料金設定をあらかじめ契約しておけば、宿泊施設側も積極的に協力してもらえるのではないのでしょうか。</p> <p>庄内交通の加茂経由湯野浜行きの経路であれば、閑散期に入館券とバス利用が格安で可能なパスなどを設定できるように相談してもらいたいです。その路線バスのデザインやシート、つり革などにオリジナルデザインをした車両なども、部分的にでも導入を検討して頂きたい。</p>	参考	<p>現在、ゴールデンウィークや夏季のお盆期間等の繁忙期においては、開館時間を1時間早め、また、閉館時間を30分延長することで混雑緩和を図っており、それに伴い、ひれあしの時間などの館内プログラムも時間変更しております。</p> <p>繁忙期の時間限定の予約制は、入館待ち対策としての効果や導入の可能性、運用方法も含め、今後検討して参ります。</p> <p>閑散期の団体客集客については、水族館はもちろんのこと、近隣宿泊施設等にとっても重要であると認識しております。現在も一部の旅行会社や交通機関でのパック商品の取り扱いを行っている状況ではありますが、さらなる集客に向けて、関係機関と連携しながら検討して参ります。</p>
4	<p>地震などの避難対策として、今後の課題としてであっても高台への誘導がしやすくなる様な対策を加味して検討いただきたい。</p> <p>今回のリニューアルに直接関連はありませんが、今後インバウンド客などが増えるとなれば、地震発生時などでの分かり易い避難経路の確保と周知がさらに必要になります。本館のすぐ前は一般道ですが、災害発生時は何が起こるか予測できませんし、高台への避難経路なども分かりにくい印象です。計画に時間と費用、また地元自治会の理解など検討課題は多いと思います。今回に追加は無理でしょうが、今後の整備計画と今回のリニューアルが設計上スムーズにリンクできるように予め期待したいです。</p>	参考	<p>地震などの避難対策については、危機管理の面から重要であると認識しております。</p> <p>水族館では、現在、地震などの災害による避難計画を定めており、毎年計画に基づき訓練を実施しております。</p> <p>近年、外国人も多く来館しておりますので、避難経路等の表示類の整備を含め、地元自治会とも連携しながら、効果的な対策を検討して参ります。</p>